

風の便り

なでしこの里 虹の里 森友寮
なないろ
ミニなでしこ にしセンター



★発行責任者★
社会福祉法人かがやき神戸
編集委員会

〒651-2235
神戸市西区櫛谷町長谷字渋谷83-26
TEL 078-993-1667 FAX 078-993-1668
2018年 12月発行
No. 220

～寄り添うという意味を考えて～

あつという間に冬がやってきましたね。つい先日までは朝夕の寒暖差に服を選ぶのに迷っていたのに気が付けば12月。そして間もなく平成最後の正月を迎えようとしています。平成も気が付けば31年、時が経つのは早いですね、平成と聞いただけで最近のことと思う私はもう年ですね。

さて、先日、メンバーさんへの接し方について職員間で話し合っていると、ふと「メンバーに寄り添う」ってどういうことなのだろう？と考えることがありました。そして今までのことを思い返してみると、寄り添い方が自分勝手な解釈で都合のいいように使っていなかったのだろうか、寄り添う言葉の意味や本質を自分自身の中にきちんと答えを持っていたのだろうかと改めて考え直しました。

寄り添う…要求に応えること？一緒に行動を共にすること？傍で見守ること？何気に「寄り添う」という言葉を使っているけど、一人一人違うから寄り添い方は幾通りもあるしなあ… などなど、いろいろと思考が巡り巡り広がっていきました。そして、自分のしてきたことが職員側の想いや価値観を押し付けていなかったのだろうか、本当に相手の立場に立って考えて寄り添っていたのだろうか、と反省し初心に立ち返ることが出来ました。これからも寄り添うために、初めから答えを決めつけず、想像力を働かせ相手の心に共感できる感受性を養っていきたいと思います。

(グループホーム森友寮 高島登)

映画上映会『夜明け前』

～呉秀三と無名の精神障害者の100年～

心を病んだ人々はなぜ閉じ込められなければならないのか、
精神の病とは… 人間の尊厳とは… いま突きつけられる問いかけ！

日時：平成30年12月15日（土） なでしこホール（西区民センター2F）

時間：10:00 ～ 11:50

入場料：100円

【問い合わせ先】にし障害者地域生活支援センター

Tel078-996-9820

Fax078-996-9821



日帰り旅行に行ってきました！

11月2日金曜日にミニなでしこ、虹の里、森友寮、なでしこの里のメンバー26名、職員11名の合計37名でカップヌードルミュージアムと太陽の塔へ日帰り旅行に行ってきました。

当日は快晴で、全員出席のもと大型バスに乗り込み虹の里をいざ出発。行きは車内でビンゴゲーム大会を開催し、ビンゴになってもなかなか当たりくじが出ずにハラハラ、ドキドキです。ようやく終了した頃には、カップヌードルミュージアムに到着です。ここでは自分だけのオリジナルカップヌードル作りの体験です。まず、



カップに自分の好きな絵を思い思いに描きそのあとシーフードやカレー味などの好きなスープを選び、10種類以上の具材から4種の具を選び封入して完成です。それを特製の袋に入れて家で食べるのを楽しみに持ち帰りました。

次は「はたごや」でお楽しみのお昼食です。天ぷらや刺身などに、デザートとドリンクがついた「はたごや御前」を頂きました。量はちょっと少なかったけれど味はとてもよかったです。

そして最後は太陽の塔です。太陽の塔の内部公開は約50年ぶりで、万博当時に展示されていた「生命の樹の生物群」や「地底の太陽」が復元されておりすごいインパクトにみんな圧倒されました。

帰りはビンゴの景品や参加賞を受け取り、パーキングエリアで家族や参加できなかった他のメンバーのためにお土産を買って無事に虹の里へと到着しました。

参加者全員次の日帰り旅行はどこだろうか、またぜひ参加したいと早くも気持ちは次の旅へと思いをはせました。





宮軒先生の勉強会

新生病院院長 宮軒先生をお招きして、月に1回勉強会を行っています。
病気や薬の副作用など、日ごろの悩みや自分の症状で困っている事を先生と一緒に学んでいます。今回の勉強会は『精神科の薬』というテーマで行いました。

薬の話！

★精神症状には…

- ・錯乱 ・イライラ ・憂鬱や躁状態 ・不安 ・不眠 ・幻聴 ・幻覚 ・幻視
- ・てんかん ・食欲不振など人によって様々あります。

★統合失調症の薬について…

症状としては、幻覚（感覚が敏感になる）、妄想（考えすぎたり不安が強い）を抱える人が多く、「抗精神病薬」を各々の症状に合わせて処方されます。精神科医は病名ではなく症状を主に考えています。

★薬をやめてしまったら…

薬を飲むのをやめると、多くの患者さんが1年前後に再発する事があり、悪くなった時にまた強い薬が必要になります。病気の症状を改善したり和らげたりする薬ですが、予防するための薬でもあります。

次回のテーマは『薬以外の治療法について』です。

平成30年12月26日（水）13：30～14：30 場所：ミニなでしこ
精神科に通院されている方が対象の勉強会となります。是非ご参加ください。

案内コーナー

小河 Dr の相談日（内科）

12月19日（水）14：00～15：00 場所：ミニなでしこ

明海病院の小河先生が来られ、ダイエット講座や体と健康についての勉強会や内科相談を開催しています。個別相談も受け付けていますので、お気軽にご相談下さい。

宮軒 Dr の勉強会（精神科）

12月25日（水）13：30～14：30 場所：ミニなでしこ

新生病院の宮軒先生による勉強会を毎月第4水曜日に行っています。

精神科に受診されている方が対象の勉強会となります。個別相談も受けています。

こころの健康相談室

12月26日（火）13：00～15：00 場所：ミニなでしこ（予約制）

こころのケア専門の看護師の近澤先生がお話をお聞きし、少しでも楽になる道と一緒に考えます。ご予約受付は毎週月曜日10時～16時 ミニなでしこまでお願いします。

（078-926-0091）

第3期将来構想委員会

2019年から10年先のかがやき神戸が進む指針となる将来構想を今検討しています。指針の基本となるのはメンバーのニーズです。そこで、これからの5年後、10年後のこと、どんな暮らしをしたいか、どう働きたいかなど、夢や希望などを聞きましたので実態調査の報告をさせていただきたいと思います。

【仕事に関して】

20代から40代の方は一般就労や10万円稼ぎたいというニーズが多い。

50代以降になると年をとってもいつまでも働き続けたいという思いが強くなる。

【暮らしに関して】

20代から40代の方は家族と一緒に住みたい意見と一人暮らしをしたい意見に分かれる

50代以降になると環境を変えず今のままがいいという意見が多い。

金銭管理の支援をしてほしいニーズは多い、

【日中活動に関して】

ゆっくりしたい、ほっとしたい、低価格のプログラム（お金がかかると参加しない）

自立に向けた（金銭管理や調理）プログラム、

365日開いているところ、夕刻の時間帯でご飯が食べられて話し相手がいるところが欲しい

【休日（余暇）に関して】

居場所（食事が出来る・夕方から夜の居場所・安心できる場所）

緊急の時に相談できる・泊まれる所・同行支援（通院や買い物）

家族会からのお知らせ

2018年は災害が多かった年です。我が家ではトタン屋根の一部がめくれ上がり大変だったのですが、半月以上たっても仮修理だけでまだ終わっていません。業者が忙しすぎて回りきれず遅れている様です。

そんな中、順番を早めて障害の方の家の修理を先にした業者の話を聞きました。その業者は近所の障害のある方を小さい時から良く知っていたからという事です。地域の方に自然な形で受け入れられていたことが本当に困った時に助けられるのですね。普段から地域に溶け込む努力が大切だと思いました。

家族会代表 千葉恒世

◀ 12月の家族会食事会 ▶

12月22日（金） 11時30分～

場所：ミニなでしこ（喫茶 Rico にて）

会員以外の方の参加も可能です。この機会にぜひご参加してみてください。多くの方の参加をお待ちしています。

